

# Challenge News

【チャレンジニュース】

2013  
12月号

特集

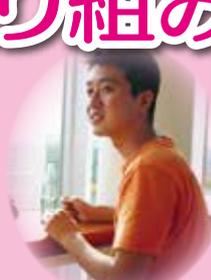
生活介護 日中活動紹介

2013年 運営ポリシー  
『ACTION!!  
こころとこころが通う  
深く向き合った支援をしよう!』

第9回めいとくフェスタ御礼

平川施設長代理より

生活介護 日中活動取り組み紹介



# フェスタ御礼

## 第9回めいとくフェスタ たくさんのご来場ありがとうございました!

このたびは、第9回めいとくフェスタの開催にあたり関係各位の皆様にご協力を賜り、このような盛大なお祭りを挙行できましたことに心より感謝申し上げます。

毎年様々な企画のもとフェスタを開催しておりますが、今回はご利用者様とご家族そしてスタッフがゆっくり楽しめるお祭りになりたいという思いを大切に、計画を行いました。

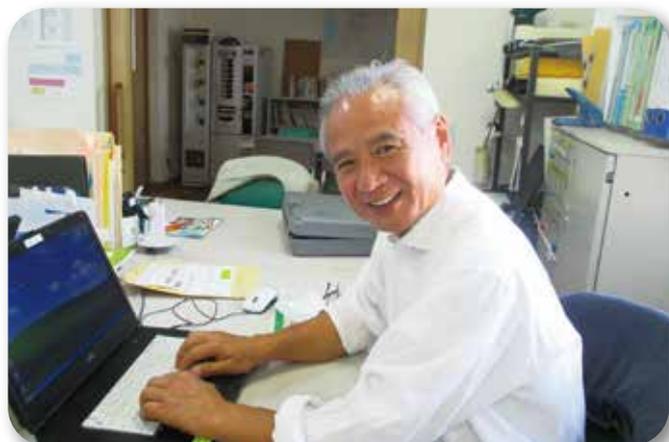
当日は、暑くもなく寒くもない良い日和に恵まれアットホームな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。



来年はチャレンジめいとくの里が出来て10年目の節目の年となります、第10回めいとくフェスタもスタッフ一同アイデアを出し合い、より楽しいフェスタになるように張り切って準備をしたいと思っておりますのでご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。 感謝

理事長 樺嶋 潤一郎





ひらかわさだとし  
施設長代理 **平川 貞俊**

10月1日から施設長代理としてチャレンジめいとくの里でお世話になることになりました平川貞俊と申します。

私は、これまでに知的障がい、聴覚障がい、肢体不自由などの障がいのある方と32年間、特別支援教育の世界でかかわらせていただきました。

平成24年3月、知的障がいの特別支援学校を退職後、同年4月から1年間、熊本市発達障がい者支援センターで発達障がいの方の相談支援の仕事をしていただきました。

教育と福祉の両方に携わることで、幼児児童生徒たちや先生方、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様など、これまでに多くの皆様と出会うことができました。教育と福祉での長い時間のなかで、さまざまなことを感じ、さまざまなことを考えることができたことは、私にとって大変意義のあるものでした。特に、一人一人の個性に応じて良さや強みが発揮されるような環境を整えていくことの大切さや地域社会の皆様と連携しながら支援をすることの大切さなどを学ぶことができました。

しかし、教育の経験は長いのですが、福祉サービスの仕事の経験が短く、まだまだ経験不足や理解不足のところばかりです。ご利用者様やご家族の皆様、関係者の皆様方に早く安心していただけるよう努力してまいりたいと思います。

今後、社会福祉についての勉強と経験を積み重ね、チャレンジめいとくの里が大切にしてこられた基本理念に基づき、家庭的な環境・かかわりのなかで、保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様からのご支援をいただきながら、ご利用者様にとって家族のような安らぎのある施設となりますよう、運営に力を尽くしたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## プロフィール

### 生年月日

昭和26年5月2日生まれ。うさぎ年生まれの62歳です。

### 趣味・特技

じっとしているのが苦手なので、休日は一坪農園で野菜を育てたり、大型バイクに乗って遊んだりしています。

最近は、休日に孫とゲームセンターに行き、UFOキャッチャーにはまっています。

### 家族など

熊本市東区の「うまかな・よかなスタジアム」近くに住んでいます。3人の子供も巣立っていき、妻と2人暮らしです。7匹の金魚を飼っています。現在、孫が6人いますが、来年、あと2人増える予定です。(双子が生まれる予定です。)



### その他

平成25年4月から社会福祉士資格取得のため、熊本YMCA学院の通信教育を受講しています。専門書と格闘しながら各月ごとに提出するレポート作成に四苦八苦しています。



愛車BMW R1200R

当施設の生活介護事業所では、幅広いニーズに合った日中活動内容の提供のため、5グループに分かれ入所者も通所者も同じグループで活動に参加されています。各グループには特色があり支援内容についても様々です。

そこで、今回は各グループの利用者の方お一人にスポットを当てて、個別支援内容やご本人及びご家族の感想にグループの紹介を加えた内容にしております。



## きらりグループ活動紹介

入職6年目：中島裕輔



きらりグループでは、主にウォーキングや個別活動に日々取り組んでいます。個別活動では学習材、紙すきハガキの創作活動を提供しています。学習材では、作業や生活場面に繋がるよう、個々人の目的に応じて実施しています。紙すきハガキでは、色々な工程に分かれて、それぞれ得意とする工程を提供しています。

また、リラックススペースを設け、個別活動の合間にもスキンシップやコミュニケーションを図っています。活動場所が安らげる場所であることももちろんですが、きらりグループの支援員が、ご利用者様にとって安心できる存在であるよう心がけて支援を行っています。

### 日中の支援内容は…

Sさんの支援計画として、現在ドットアートにチャレンジしています。1マスが2cm、縦80列(160cm)×横60列(120cm)の大きな作品です。マス目には番号が書いてあり、それに応じた色画用紙をSさんが貼っていきます。

これは、Sさんが数字の理解が高いこと、綺麗に並べることが得意なことに着目し、創作活動に活かした支援です。完成すると、アニメのキャラクターが出来上がります。



### 生活場面でも…

数字への理解力を活かした支援を行っています。ご自身では中々毎日違う服を選ぶことができません。そこで、日毎に着る服を番号で指定し、毎朝職員が番号カードを渡して、それに応じた服に着替えるよう支援しています。今では、Sさんは毎日違う服に着替えることが出来るようになりました。

ご利用者様への支援では、その方の持つ能力に気付くことがとても大切だと思います。そして、それを様々な場面で活かし、ご利用者様の日々の生活が向上するよう試行錯誤することが、支援員として一番やりがいを感じます。



## さくらグループ活動紹介

入職2年目：内田由和

さくらグループは、ご利用者様のペースを尊重することを第一に考えながら活動しているグループです。軽作業や、運動、創作活動、ダンス、調理、廃品回収などを行っています。また、ご利用者様の希望に沿って、漢字やひらがなの練習、パズル、折り紙等の活動を提供しています。

### ご本人のことを深く知るために ～Wさんの支援を通して～

Wさんは、環境の変化が苦手な方なので、新しく担当になった私を受け入れてもらえるのかとても不安に思っていました。そのような思いの中、「ご本人」「ご家族」「担当者」「サービス管理責任者」と面談する「ひまわりトーク」でご家族から伺ったWさんの好きなことをヒントに、関係を深めることが出来ないかと色々考えました。

まず初めに取り組んだことは、子供の頃からパズルが好きとだということヒントに、活動時間にパズルを買いに出掛け一緒に楽しい時間を共有するという経験を積み重ねました。また、活動の中でご本人にとって楽しい時間を増やし、それを共に過ごすことで少しずつではありますが、Wさんとの関係を深めることが出来たように思います。

活動が充実した結果、情緒的にも落ち着いてこられ、今では「一緒に買い物に行こう」などと気軽に声をかけていただけるようになったことがとても嬉しく思います。



## わかばグループ活動紹介

入職1年目：松浦友美

わかばグループでは、午前、午後の活動開始前に心身のスイッチを入れるため、音楽に合わせたダンスに取り組んでいます。以前は、「氷川きよしさん」のゆっくりとした曲でしたが、今は、テンポ良く「きゃりーぱみゅぱみゅさん」の「にんじやりばんばん」に挑戦中です。全体活動では、野外や室内でのウォーキングのほか季節の曲をみなさんと歌ったり、座ってできる体操に取り組んだりしています。個別活動では、ご利用者様の希望に沿って、ブレスレット作りや、ぬりえ、文字書き等の活動を行っています。

### 受容することの大切さ ～Tさんの支援を通して～



わかばグループのTさんは、入所された当時、自宅にいた頃に比べ自由に外出や買い物が出来なかったことや自宅に帰りたいとの思いから、一人で施設を出て行かれることを繰り返されました。

そこで、ご本人とご家族との話し合いの場を作り、Tさんからは大好きなコーラが飲めないことへの不満や、自由に買い物に行きたいとのお要望を聴くことができました。

それからは、帰省時にご家族に買い物の協力をしていただいたことで、帰園時に「コーラや巻き寿司を買って食べた。」と楽しそうに話され、次第に表情も良くなり一人で施設を出られることも無くなりました。

また、最近新たな楽しみを見つけられています。それは、食堂の台拭きや支援員と一緒にゴミ捨てに行き、施設内通貨(ミュー)を貯めるということです。「また、台拭きしてきた。ミューばもらった!」と嬉しそうに笑われる姿を見て、これからも楽しみながら挑戦していただく機会を少しでも多く提供していけたらなと思います。



## あおぞらグループ活動紹介

入職6年目：追立 強

あおぞらグループでは体を大きく使った遊びや運動で、楽しみながら感覚を養う活動を行っています。活動前には始まりの合図として手遊びをしています。またトランポリンで飛び跳ねたり、ボールプールに入ったりして、色々な感覚を体感していただいています。また個別活動では、ご利用者様とマンツーマンで動作訓練、貼り絵作成をメインに、個別のマッチング学習に取り組んでいます。

限られた時間の中での活動となりますが、ご利用者様と向き合う大切な時間と考えて取り組んでいます。

貼り絵



サーキット



感覚遊び



EM作業



ウォーキング



### 1・Tさん めいとくの里での変化

確か20歳の11月から通い始めたので、めいとくにお世話になって11月でまる8年になると思います。利用当初の頃は、通所のことは「デイサービス」と呼ばれていましたし、熊本市からは、毎日通える日数（支給量）をもらえなかったもので、月に何日かは自宅で過ごしていました。

息子は変化が苦手で、めいとくの里に慣れるまで大変時間がかかりました。初めてショートステイ（宿泊）を利用した時は、男性支援員さんと結構な時間散歩をして、パニックにならないようにしてもらいました。道なりにホテルがあり、息子が手をつないで歩いたらしく、カップルにでも間違われたのか、横を通るドライバーのみなさんにじろじろ見られたとか・・・ご迷惑をおかけしました。

今ではすっかりめいとくの里での生活にも慣れ、自分で好きな様にスケジュールを立てて過ごしているようです。現在は、あおぞらグループに所属し、「EMぼかし」の作業を行っています。帰宅すると「EM頑張った!」と一つ覚えのように言っていますが、作業服からEMの匂いがすると、頑張った作業をしたんだなと感じます。作業後はノートに記入することになっており、きちんと書くことができれば、年度末に「グリーンランド」に連れて行ってもらっています。

これが、年間を通しての大きな楽しみになっているようです。また、あおぞらグループでは週に2回、外出ウォーキングに連れて行ってもらっています。これもとても楽しみにしており、「めいとくドライブ」と何回も言っては、帰ってくると「○○ドライブ行った」と話してくれます。

現在では、月に1~2回の割合でショートステイを利用していますが、本人の強い希望で1泊2日のショートステイしかできない状況です。将来的には2泊3日、3泊4日と長く宿泊できるようになってくれたらと思っています。

そして、大好きなEM作業の工程の幅が広がっていったらと願っています。

「お母様より」



# OPUSグループ活動紹介

入職5年目：森塚美里

OPUS（オーパス）の方針として、室内での軽作業を中心に「活動を通じて安定した生活」が送れるよう、個々の力や特性に着目し、活動の中でその力が発揮できるよう環境を整え、活かした活動の提供を行うことで自主性の向上や充実感が得られるよう常に工夫をしています。

主な作業内容としてフルーツキャップ作製、ウォーキングや神社清掃を行っています。

フルーツ  
キャップ作業

検品作業

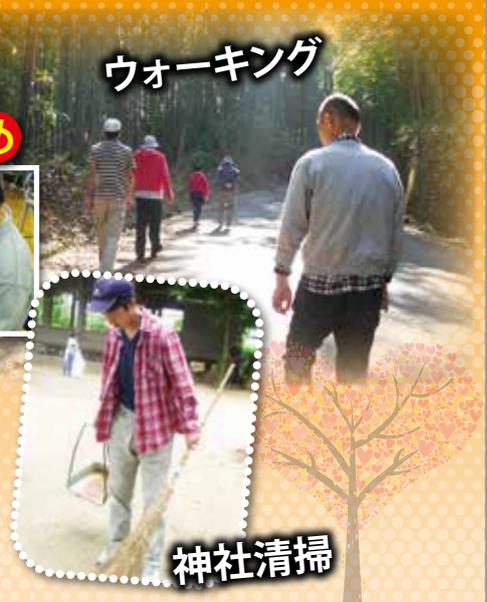
折り作業



5個まとめ



ウォーキング



制作風景

受取り・納品



袋詰め  
作業



神社清掃

## ご利用者様インタビュー

今回は、今年度からOPUSに所属されたNさんに活動についてのインタビューを行いました。

**支援員：**オーパスグループはどういったグループですか？

**Nさん：**障がいがある人たちが作業が皆で出来るようにお互いに助け合うグループです。

**支援員：**Nさんは何の作業をされているんですか？

**Nさん：**検品作業をしています。

**支援員：**検品作業とはなんですか？

**Nさん：**筒になっているフルーツキャップを折る人がして、それを僕たちが長さを合わせたり、破れている物を見つけます。髪の毛や埃が入っていると売れないので気を付けてやっていきたいと思います。



**支援員：**Nさんが目標にしていることはなんですか？

**Nさん：**袋詰め作業をしたいです。

**支援員：**オーパスグループに入ってどのように感じましたか？

**Nさん：**最初は難しかったけど、折り作業もやって行くうちに慣れて、丁寧にやって行くことを覚えました。オーパスに入って友達が増えたことが嬉しいです。ずっと仲良くやっていきたいです。

SOCIAL WELFARE COMPANY  
MEITOKUKAI  
社会福祉法人 明徳会



障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護  
施設入所支援  
短期入所  
日中一時支援

ゆめくらしワークス事業部  
就労移行支援  
生活訓練  
就労継続支援B型

〒861-5503 熊本市北区明徳町707-1  
☎096-215-9101 ㊚096-245-2344  
mail c.meitoku@meitokukai.jp

☎096-215-9103 ㊚096-273-6343  
mail meitokunosato-works@meitokukai.jp



障がい者ケアホーム&グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助  
共同生活介護



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木163-1-1F  
☎096-227-6450 ㊚096-227-6451  
mail meitoku-challenge@live.jp



明徳会ホームページ

<http://www.meitokukai.jp>